

## 1 はじめに

諏訪小学校では、生活科と総合的な学習の時間において、諏訪地区の学習素材を起点として、自ら課題を設定し、主体的に追究する活動を行っている。生活科では、自然体験や社会体験を通して、たくさんの気づきの中から、自ら考え、正しく判断し行動できるようにすることをねらいとしている。また、総合的な学習の時間では、意欲が高められる体験活動や、探究的な学習を通して、互いに学び合い地域の人々と交流するなど、他者と協同して主体的に課題を解決しようとする態度を育てることをねらいとしている。

本単元では、2年生の町探検を通して、児童自らが地域と直接関わる活動を中心に、主体的に行動する力を育成してきた。また、伝え合う活動を通して、児童の想いを整理させ、探検への目的意識を明確にすることで、意欲を持続できるように取り組んだ。

## 2 指導案

(1) 単元名 わたしの町はっけん

(2) 単元の目標

- ①自分たちが住む町を探検し、様々な場所やもの、人に出会いながら、町への親しみと愛着を深めることができる。 (関心・意欲・態度)
- ②諸感覚を働かせたり、道具を利用したりして、町のことを調べることができる。 (思考・表現)
- ③好きな場所や人、心に残った出来事等を表現し、友達や地域の人に知らせることができる。 (気づき)

(3) 指導に当たって

本単元は、学習指導要領の内容(3)(4)(5)(8)を受け、自分が住んでいる地域の人や場所のすばらしさに気づき、地域への親しみや愛着を深め、人々と接することができ、安全に生活しようとする態度を育成することをねらいとしている。このことから、本単元では四季の変化や季節によって生活の様子が変わることにより気づき、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにすること、好きな場所や人、心に残った出来事を友達や地域の人に伝え合う活動を通して、交流することの楽しさを実感できることをねらいとしている。

本学級の児童は、生活科学習に関する意識調査によると、「生活科の学習は好きですか」の問いに、学級全員が「好き」と答えている。しかし、1学期に町探検を行ったにもかかわらず、「学校の近くには、どんな店や建物、場所等があるか、知っていますか」の問いに、「知っている」が13人、「知らない」が8人いた。児童は、買い物をする店や通っていた保育園や幼稚園等の直接関わった場所については認識しているものの、それ以外は意識していないことが分かった。

本単元の指導に当たっては、2回目の町探検を実施する中で、身近な人々や地域の場所等に気づき、児童自らが直接関わる活動を中心に、主体的に行動する力を育成したい。特に、1学期の町探検や日々の生

活の中で体験した大好きな人や場所について、床地図や写真等を活用し、伝え合う活動を取り入れることで、児童の想いを整理させ、探検の目的意識を明確にしたい。また、探検への意欲を単元全体で持続させ、身近な人々や地域との関わりに関心をもち、地域を支える人々と関わろうとする態度を育てたい。

児童の実態調査 平成 29 年 8 月 10 日実施 (男子 11 人 女子 10 人 計 21 人)

意識調査	① 生活科の学習は好きですか。	はい 21 人, いいえ 0 人
	② 1 学期の生活科で楽しかった事は何ですか。	学校探検 3 人, 野菜の観察 1 人, 町探検 17 人
	③ 学校の近くには, どんな店や建物, 場所等があるか, 知っていますか。	知っている 13 人, 知らない 8 人
	④ ③で「知っている」と答えた人は, その場所はどこですか。(複数回答)	諏訪神社 6 人, 保育園・幼稚園 10 人, 弁当屋 8 人, 駄菓子屋 3 人, 生花店 3 人, ドラッグストア 5 人, スーパー 8 人, スポーツ広場 3 人
	⑤ これから町探検で行ってみたい場所はどこですか。	保育園・幼稚園 5 人, 弁当屋 5 人, 駄菓子屋 7 人, ドラッグストア 2 人, 無回答 2 人

(4) 指導計画 (10 時間扱い) ○は本時

次	時	主な学習活動	主な評価
1	1・2	・町で大好きな人や場所とそのわけを「しょうかい」カードに書いて, 紹介し合う。	自分の「町の大すき」な人や場所を書き表そうとする活動を通し, 町のすてきな人や場所について考えることができる。 思考・表現 (ワークシート・発表)
	③・4	・友達が紹介した「町の大すき」を, 実際に見たり, 確かめたりする「町はっけん」について話し合う。	町には行ってみたい場所がいくつもあることに気付くことができる。 気付き (観察・発表・ワークシート) 行ってみたい場所を決め, 計画を立てようとしている。 関心・意欲・態度 (観察・ワークシート)
	5~8	・グループごとに「町はっけん」に出発し, 見たり, 尋ねたりしながら活動する。	あいさつしたり話し掛けたりする等, 地域の人々に進んで関わろうとしている。 関心・意欲・態度 (観察) 探検する約束を考え, 実行できる。 思考・表現 (観察)
	9・10	・見つけたことや出会った人, ものごとを「はっけんカード」に書き出し, 情報交換する。	発見したことを相手に伝えるように工夫して表現することができる。 思考・表現 (観察・ワークシート)

		<p>地域には、魅力的な人々が生活しており、様々な場所があることに気付くことができる。</p> <p>気付き（発表・ワークシート）</p>
--	--	---

(5) 本時の指導

①目標

- ・「町の大すき」を紹介し合う活動を通して、町には行ってみたい場所がいくつもあることに気付くことができる。

②準備・資料

- ・ワークシート①（学習課題および学習内容について）
- ・ワークシート②（諏訪小学区域の地図）
- ・諏訪小学区域の地図を拡大した床地図
- ・紹介カード

③展開

学習活動・内容	支援の手立て・評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>町の大すきな場しょや人をしょうかいしよう。</p> </div> <p>2 大すきな場所や人とそのわけを発表する。</p> <p>(1) 紹介カードを床地図に置きながら、「町の大好きな場所や人」の考えを全体で共有する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 250px;"> <p>ぼく（わたし）がしょうかいしたい町の大すきな<u>場しょ</u>は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇<u>こうえん</u>です。</li> <li>・その<u>こうえん</u>を大すきなりゆうは〇〇</li> </ul> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 250px;"> <p>ぼく（わたし）がしょうかいしたい町の大すきな<u>人</u>は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇<u>さん</u>です。</li> <li>・その人を大すきなりゆうは〇〇だから</li> </ul> </div> </div> <p>(2) 友達の「町の大好きな場所や人」について、質問する。</p> <p>3 この後、どのようなことをしたいか、考える。</p> <p>(1) 発表を聞いて、したいことを全体で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に紹介カードを隣同士で発表し合うことにより、自分の考えに自信をもって授業に臨めるように準備しておく。</li> <li>・全員で課題を把握し、本時の学習課題および学習内容が書かれたワークシート①を配付することで学習の見通しがもてるようにする。</li> <li>・床地図に紹介カードを置く時は、上靴を脱ぎ、滑らないように歩くという約束を確認する。</li> <li>・紹介カードを床地図に置きながら、おおよその場所を確認し、全員で意見を共有する。</li> <li>・場所を分かりやすく示すため、床地図上には、1回目の町探検で訪れた場所等の目印や写真を置いておき、場所を探す手掛かりをつくる。</li> <li>・発表する事柄（文型）を事前に提示し、発表が苦手な児童が自信をもって発表できるように配慮する。</li> <li>・友達の発表を聞いて、気になった場所や人については、ワークシート②に印を付けておくように声掛けをし、後で分かるように工夫する。</li> <li>・友達の発表の中で、気になる場所や人について、質問し合い、深められるようにする。</li> <li>・町探検に限定せず、友達の発表を聞いて、どんなことをしてみたいかを自由に発言できるようにす</li> </ul>

<p>(2) 2回目の町探検で行きたい場所を考える。</p> <p>4 本時の活動を振り返る。</p> <p>5 次時の活動の内容を確認する。</p>	<p>ることで、実生活の中でも自分の町を意識できるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート①に、行ってみたいと思った場所を自由に書き出す。</li> <li>・床地図や写真、友達の意見を参考にして考えられるように工夫する。</li> </ul> <p>(評) 自他の発表を聞き、町には行ってみたい場所がいくつもあることに気付くことができたか。 気付き(観察・発表・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分では、気が付かないようなすてきな場所がたくさんあることを確認し、町探検や計画を立てることへの興味、関心を高める。</li> <li>・ワークシート①に、自分の取り組みを振り返ることで、町探検への意欲が持続できるように工夫する。</li> <li>・次時は、行ってみたい場所を参考にして、グループ別に町探検の計画を立てることを伝える。</li> </ul>
---	--

### 3 資料



発表の仕方がわかると安心できるね。

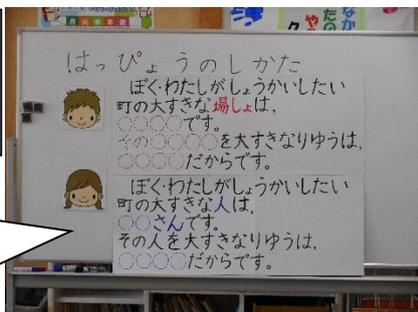
学校のまわりにはいろんなところがあるね。

1学期に行った所はここにあったんだ。



場所を分かりやすくするため、床地図を使って学習を進めた。

意欲的な発表を支援するための手立てとして、発表の仕方を掲示した。



### 4 成果と課題

#### 【成果】

- ・導入で、1学期に行った町探検を地図上で振り返ることにより、学校の辺りを想起することができた。

- ・床地図を使用することで、学校と好きな場所とのおおよその位置関係が分かり、2回目の探検に行く場所を考える手がかりとなった。
- ・発表する事柄（文型）が決まっていたため、好きな場所と選んだ理由をきちんと聞き取ることができ、発表者だけでなく聞き手の支援にもつながった。
- ・友達の意見を聞くことで新しい気づきができ、次時の探検に向けて、意欲がより一層深まった。

**【課題】**

- ・単に「探検が楽しい」という思いに留まってしまう児童がいるのが現状である。そのため、今後の学習に繋がるような支援をしていきたい。本校では、3学年の総合的な学習の時間にも同じような探検の場面がある。今年度の学びが生きるよう、次年度への引き継ぎを大切にしていきたい。